

短歌・俳句で綴る

御代田の四季

「短歌の会」と「御代田風の道俳句会」から寄せられた代表作品です。

短歌

かさかさ朽葉掃きいる夫の背を追いつつ遊ぶぬくき冬の陽

吉田 倉子

平穏といふ字に埋まれ初春の陽に輝ける真更の暦

桑原アヤ子

昨日二人今日五人去りまたもとの老人だけの正月疲れ

大井 藤子

俳句

当期雑詠

冬麗の石垣うねる首里城

足立 淳

辰年の初春祝ぎて龍の舞

土屋 春雄

初雪や気儘に歩く犬の跡

小林阿ぐり

狛犬の口にとび込む初雀

清水 慶子

船出めき荒船山に初日の出

石川 政司

しろがねの浅間に御慶申しけり

内堀 隆久

サークル さあ来る。 47

ボランティア
グループ編

『御代田町に 学童保育をつくる会』

仕事を持つ親が、子どもを預かってもらう学童保育、御代田では小学3年生が上限です。4年生からは放課後も夏休みも一人で留守番？イヤなら私が仕事を辞めなきゃいけない？困った母親たちが相談し、何年生でも安全に楽しく過ごせる自分たちの学童を作ろうと活動を始めたのが2009年の夏。現在は夏休みなどの長期休みを中心に、ハートピアや栄町公民館で自主的に保育を行っています。中心的に運営にかかわるのは、実家は県外、子どもは一人っ子という働く母3人組と、教員経験もある頼れる指導員さん。もちろん保育を利用する家庭の方も、その都度いろいろ手伝ってくれます。北小・南小の1年～6年生が一緒に遊び、学んでいく毎日は、さながら大きな家族のよう。子どもたちは友だちと会えるのを楽しみにしているし、私たちも安心して仕事にでかけられます。このつながりをもっと広げ、代々受け継いでいけたらと思っています。

問い合わせ先 町社会福祉協議会 (32)1100



Man Watching #141

スポーツ大好きです!!

- ◎1 趣味は？
スノーボード・フットサル
バスケットボール・旅行
- ◎2 おすすめスポットは？
佐久スキーガーデン「パラダ」
カフェ・ド ヤカクラ
- ◎3 理想の人は？
行動力のある人
- ◎4 夢・目標は？
世界一周旅行
- ◎5 まちづくりに一言
イベントなどを通して多くの人
たちが、繋がりを持てる町に
なってほしいです。



Let's try English!

Message FROM
Paul Wellington Harris
(中学校AET)
Vol.160



Congratulations to the Graduating Class of 2012
Enjoy your Journey through life!

An old university buddy of mine said something to me recently that really spoke to my soul. Here are his exact words:

"In three words I can sum up everything I've learned about life: IT GOES ON!!! You only live once, but if you do it right, once is enough. Most people just exist...and if you don't know where you are going, any road will get you there, but as for me I may not have gone where I intended to go, but I think I have ended up where I needed to be."

I completely agree with this. Life truly does go on whether you are happy, sad, angry, lonely, poor or rich. It doesn't matter. It is up to us to make the most of what we want in life. If we don't make any effort to have the life we want, then we are only existing in it. It is useless to complain about the things we do not like in life. If we can, we should try to change them. If we can't, then maybe we should change ourselves.

Life is a long journey with many roads, turns, bumps, hills, potholes, and unpaved areas. When we were young, most of us did not know where our journey would take us in life. Along the roads we traveled, we visited many places and people. Some took us the wrong way, but there were many signs and billboards to help us choose the right way. Those signs are our parents, teachers, relatives and friends. However, when we are young, we sometimes choose to ignore them or we move too fast to read those signs.

I am almost 36 years old now and I am still on my road through life, I always try to stay on the right path, but in the past, I've made mistakes and some wrong turns. But those are a part of life and it is our duty to learn and remember them so that we don't follow that same road again and so that we can become signs for others who may travel along the same road in their life one day.

So far, my road has led me here, to Japan. This isn't where I thought life would take me 15 years ago, but I think it is where I need to be now. I am happy here, and my life is good. Now, you are on your journey through life. Remember, any road can take you on your journey, but try to choose the best one and follow the signs. Change roads if you go the wrong way; it's never too late. You may not be where you want to be, now, but you'll get there eventually. And remember this: LIFE GOES ON!

卒業する皆さん、おめでとうございます。
人生を通して旅を楽しんでください!

最近、僕の大学時代の友人が言ったことなのですが、本当に心に響いたのでここで紹介します。

「たったの三言で僕は人生を結論づけたよ。それは、『人生は続く!!!』ということさ。人生は一度きりだけど、正しく人生を送れたら一回で十分だよ。多くの人たちはただ存在しているというだけで、どこに向かっているかもわからず、今選んでいる道がどこに続いているのかも分からない。僕は向かうべきではない道には進まないけど、僕が必要だと思うところで道は終わると思うな」

本当にその意見に賛成です。幸せであろうが、悲しいことが起ころうが、さみしかろうが、貧しくても、裕福でも人生は続くのです。そういったことは関係なく、人生に何が必要なのかは僕たち次第なのです。なりたい自分になるよう努力しなかったら、それはただ単に、存在しているだけになってしまいます。人生の中で嫌いなことについて文句ばかり言っても何にもならないでしょう?できることなら、変化を起こしてみるべきです。

人生はいくつもの道があり、曲がり角もあり、デコボコだったり山があったり、大きな穴があったり、険しかったりするでしょう。若いときには、自分の人生の旅がどこに向かっているのかわからなかったです。自分が旅を続けている道の途中で、色々なところに立ち寄り、人々に出会いました。いくつかの選択肢が僕たちを間違った道に連れていこうとしますが、その途中で沢山のサインや掲示があつて、道を正すのを手助けしてくれるんです。そのサインは親だったり友だちだったりします。でも、若いときにはそれらのサインを無視してしまうこともあるでしょう。

僕はもうじき36歳になりますが、まだ道の途中です。正しい道を歩もうとしていますが、過去には間違いを犯したり道を間違えることもありましたが、でも、間違いだつて自分の人生の一部でもあるし、肝心なのはその間違いから学んでまた、間違つた道に行かないようにすることです。そうすれば、いつかは僕たち自身が誰かのサインになってあげられることができるでしょう。

これまで、僕の人生は日本へと続いていました。これは僕が15年前に考えていたことではなかったけれど、これが僕にとって必要なことなのだったと思っています。僕はここで幸せだし、僕の人生は良かったと思っています。今君たちは人生の旅の途中です。どの道を選んだとしても君たちの人生ですが、サインに従っていつも一番良いと思える道を選んでください。間違つたと思つたらいつでも道を変えれば良い、いつになつても遅すぎるということはないのだから。行きたいところに行けないかもしれないけれど、たまたま行き着くことだってあるし。だからこの言葉を忘れないでください。「人生は続く」ということを。